常磐文藝

◇歩む心

希苦男

高山颪の身に泌む
姿なき枯野をひとり歩む
俺のこゝろの存在……
やつぱり人間なんだ
そして生きてゐる心と
生きやうとする心はある
あゝこのさむ風と
あの灰色の群雲とに
さへぎられて
光りも淡い日の姿……
温い東風は何時吹くことか
結ばれた愛の蕾は
何時なれば開くことか
人生の寂寞の荒地に
あゝ何時なれば開くことか
情けなの風に悶ゆる
固き蕾を胸に秘めて
高山颪の胸を刺す
愛の枯野をひとり歩む
俺のこゝろの存在……

――二、二七、――

漆器指物
和久井屋漆器店
平町一丁目
電話四〇五番

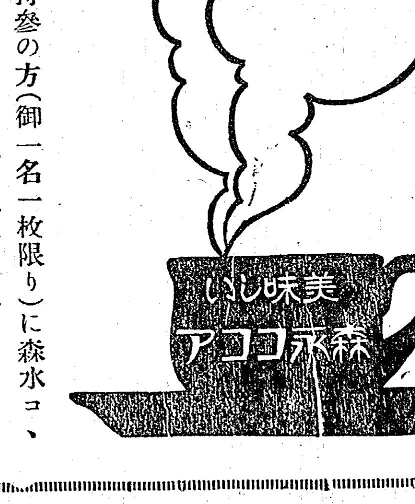
平町會議員候補者 鷹崎貞衛君
右最モ適任者ト認メ推薦シ協力一致シ其ノ當選ヲ期ス
一丁目一同

平町紺屋町
古田眼科醫院

平町々會議員候補者トシテ
佐々木龍若君ヲ推薦シ極力以テ其當選ヲ期ス
平町有權者有志
第十六區第十七區 青年一同

帝國キネマ本年度超特作公開
時代劇連續 荒木又右衛門 後篇六巻 嵐璃徳・尾上紋十郎・片岡仁引共演
舊劇 不破數右エ門 全巻 嵐璃徳・一派大猛演
現代劇 もゆる青春 全巻 尾崎靜子・濱田格・高堂國共演
現代諷刺劇 勇敢なる弱者 全巻 入社第一回作品 五月信子、正邦宏力演
實寫『ピラミツトランド』全巻
七曜日ヒあり ルます
帝キネ直營 有聲座 電話四四六

常磐毎日新聞
讀者優待
◇此券切り取り持參の方（御一名一枚限り）に森永ココア一杯差上げます但し廿三日から廿六日迄
松ケ岡公園池の畔
森永コ、アホール
（四丁目マツモトヤ）



花見のお歸りには
――長橋町の……
うどん そば まつやへ

毎日午前十時から
卅分間
友仙モス一尺 十二錢で廉賣
春衣……の 大賣出し
平・十橋 塩屋呉服店 電話二二番

柏傳の 染物ト刺子
上 柏屋染物店

期待せる名畫公開
涙と笑と活劇
お臍の逆轉現代笑劇 夜明け前 見よ勝見庸太郎の努力 英百合子・岡田宗太郎助演
第四回連續冒險猛活劇 死の渦巻 全巻
幕末大猛闘活劇 安藤精之助の死 全巻
學窓ロマンス 白菊の唄 全巻
其他實寫 四月二十四日より
平館 四六六

常磐毎日新聞

定價 一部金弐錢 一ヶ月前金五拾錢 郵税五厘
休刊 日曜日ノ翌日
福島縣石城郡平町鍛冶町十一 印刷所 オ社専屬 磐陽社
發行兼編輯人 印刷人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町卅五番地 發行所 常磐毎日新聞社

四月廿四日夕刊

常磐論壇

若い女の体格美

スポーツ生

女子の体育熱が盛んになつて女學生は一昔前とは格段の發達を見せてゐる街頭を通る母子連の女を見るとおかあさんの方は背屈になり脚が曲つてそれで小きざみに内輪に歩むが娘さんは其反對に胸を張り足を眞直に伸ばして裾さばき鮮かに足を運ぶ年こそ娘の方が少いに相違はないが身長に於てはおかあさんの方が娘だと云はれても仕方ない程の相違である之は近來一般國民の生活狀態が以前と違つて來て食物の關係やら住居の狀態などが身體の發育に適すべき樣式を持つて來た事にも依るが第一は今迄閑却された女子の体育が盛んになつたからの事で此の女子の體育奬勵が漸く唱導されて來たのは大正四五年度以來でことにそれが一般に認められる樣になつたのはつい最近の事である、高等女學校につい生徒の身体檢査統計表を見ると次の樣に驚くべき進歩を示してゐる体育に重きを置かなかつた明治四十一二年頃と大正十年以降十三年に至る迄の比較を年齢の十八歳の女生徒に就て見ると

年度	身長	体重
四一年	四六五	一〇、六九
大正十年	四九三	一一、七九
一三年	五一〇	一三、六五

となり明治四十一年と大正十三年とては身長に於て四寸五分体重に於て二貫九百五十匁だけ増してゐる女子の身体の發育は大抵十七八歳で終るから十七八年前の女子と現今の女子の体格を比較して見たら矢張り此表の示す樣な相違が發見するであらう

長者議員は是非石城郡から

適任者は當然山崎與三郎氏　目下形勢を觀測中……

本縣に於ける貴族院多額納稅議員互選資格者は既記の如く十六名であつて其内石城郡には諸橋久太郎、山崎與三郎、馬目太吉の三氏が數へられ優勢を示して居る處から是非今回は石城郡から當選せしめ度いとの希望を有する者が多く目下種々形勢を觀測中であるとの由にて石城郡からとなれば多分山崎與三郎氏が推擧される事であらう

十年計畫で

桑園の改良

石郡郡養蠶同業組合にては縣蠶業課と協力し本年より向ふ十ケ年の繼續事業とし桑園改良を爲すべく着々準備中であるが是れが完成の曉には本郡の生繭生産高は五百萬貫以上に達する見込みであると

川前驛附近の絶景

岩つゝじ咲く

紅葉の名所たる磐越線川前驛附近はまた遠近に知られた岩躑躅の名所で突几たる巉巖のあたり夏井の清流に眞紅の影を投ずる風情得も云はれぬものがある來る廿六日の日曜日頃が見頃であらうと

讀者へ接待のコ、ア好評

頗る美味

松ケ岡公園池の端に四丁目マツモトヤ菓子店から出張中の森水コ、アホールにて本社讀者を優遇し昨日からコ、アを接待しつゝあるは昨報の如くであるが頗る美味である爲め好評を博し昨夜は陸續として引きも切らざる盛況を示した由であつて廿六日迄は廣告欄刷り込みの優待券が有効であるから是非御遠慮なく參られ度しとの事である

一部落が全部チブス

穩した爲めに

石城郡錦村大字中田坂本初太郎が此程腸チブスに罹つたむねを届出でたので醫師及び豫防吏員出張隔離し消毒せんとした處これより先隣家兒玉庄平を始め三名該病にて枕をならべ居り頗る重症に陷つて居ることを發見し部落一圓の大消毒及び健康診斷をなした處又々七名の患者を發見したので大騷ぎの上何づれも隔離したが同部落は僅に七軒のみで隔離の附添その他で全く一家留守の家もあり全滅の有樣でこれ等は何れも醫療を怠り隱蔽した結果斯くは大事に至つたものであると

平窪村長慰勞

石城郡平窪村にては本日午後二時から村會を開き松崎前村長に對する慰勞金贈呈に關して附議する筈

清々しい感じの婦人や子供の洋服

たやすく手縫が出來る　平教育會で講習

輕快で衛生的で生理的で其上いかにも清々しい感じを與へるのは最近流行し出した婦人や子供の洋服である其處で平町教育會處女會にては一般家庭でたやすく手縫の出來る婦人や子供の洋服講習會を近々催す計劃にて目下種々準備中だが講師は東京文化裁縫女學校長並木伊三郎、同教頭中村里海子の兩氏、場所は平陽實科女學校、會費一圓五十錢、期間は四日間と決定した由

産業振作會

石城産業振作會では廿五日午後一時から郡役所で打合せを開くと

玉露部落協議

石城郡泉村玉露部落では廿三日午前八時から志賀澤之助氏宅に部落大會を開き各種事業の打合せを爲し野村郡農技師の副業に關する講演があつたと

× ×

白銀町豫選

吉田氏辭退か

平町白銀町にては昨夜豫選會を開いた結果四十八票吉田禮次郎氏、卅七票志賀千鶴氏、廿二票高橋龜松氏の順序であるが吉田氏は今度は出馬の意志はない旨を傳へて居た由であつて多分辭退するであらうから結局志賀、高橋兩氏の内何れかに決する事にならうと云ふ

ガソリン披露

石城郡内郷村大字宮火防組にては此程瓦斯倫唧筒一臺二千百圓購入せる爲め廿四日正午から磐城劇場にて披露式を擧行した

不平受付

投書歡迎

コソ泥が横行　私の家の近所では此頃コソ泥の被害が多く毎朝泥的の噂で持ち切りです、警察署は一体何をして居るのでせう、これでは安心して眠る事が出來ません　（心配生）

▼中村警部補の答　御心配御尤もです、警察署も被害届により極力捜査中で既に目星もついて居るのですから必らず捕へて見せます

社告

印刷工見習員

十五歳以上十七歳迄

右數名至急募集す希望者來談あれ

平町鍛冶町

本社專屬工場　磐陽社

家庭欄

メリンスの洗ひ方

私共の實驗によりますと、汚れの少ないメリンスは、清水で絞つて、手拭をヒトイにして布の上に戴せ其上から火熨斗をかけます、此れを二三度繰り返しますと熱氣のために汚れが手拭に吸ひ取られます。こうして汚れが落ちたらば、布の裏から今一度火熨斗をかけます、こうすれば色がさめる事がなくキレイに落ちます又ひどく汚れたのは、石鹼を付けて冷水で洗ひ、蔭干にして後から火熨斗をかけるキレイに美しくなります此れからは暑くなりメリンスの洗物が多くなりますから是非此の方法で御やりになつて御覽なさい御進めいたします、一度御やりになると直ぐ呼吸をのみ込んでやればやる程御上手になります　（一讀者投）

常磐片々

○

高利の金で貧乏人の血と膏をしぼつて小金を貯め込んだばかりに前科五犯でもアツバレ町會議員の候補者樣

○

ヘン聞えてアキレらあ、イクラ石が流れて木の葉が沈む世の中だつてコンナ男が當選出來るなら平町は闇だと尻切り袢天の男が憤慨する事〳〵

○

憤慨する者が一人でもある丈末だ平町は見込みがあると云ふもの也、萬更捨てたものに非らず

基金五萬圓

石城育英事業

財團法人組織

石城郡育英會は明治四十年の創立にかゝり中等學校以上の入學者に對し學費を貸與し既に三十餘名の大學及び專門學校卒業生を出だし現在七名は學資を補給してゐるが基金僅に一萬圓に過ぎない爲め充分なる學資貸與をなし得ないので今回その組織をあらためて財團法人とし基金を五萬圓に增額して育英事業の普及を圖ることゝなつたので寄附未納者に督促を發すると共に近く寄附の募集に着手する筈である

石城農事協議

石城郡農會農業技術員、平穀物檢査支所員、農事試驗分場員、及石城郡内各町村農業技術員の産業振作會總會は二十五日午後一時より石城郡會議室に於て開催種々協議をなす筈

兒童保護會

平兩校を分離

平町兒童保護者會は廿七日新選評議員會を開く筈であるが十四年度からは平第一第二兩小學校の事務を分離する筈で豫算は平第一が四千圓、第二は四千八百圓であると

相も變らぬ人出の賑ひ

博覽會と公園

滿開の二三日を歡樂の絶頂に達したはほんの束の間今や花の終りに近づいた平町の人出は本日は朝來の雨模樣で幾分出足を鈍らせたかの感あつたが花の外に博覽會といふ照り降りに拘らぬはづれなしのプログラムに遠近小學校の兒童其他大小團体の人出殆んど平日同樣いつに變らぬ賑ひを呈した

募集

文藝其他投稿を募集します

兎の耳

にゐ湯に飛込む

大阪市西區南堀上通り三丁目永樂湯主人田中彌兵衛（七八）は廿二日朝入浴せんとして湯の加減も見ず煮えかへる湯船に飛込み全身に大やけどを負ふたので手當をしてゐたが同夜死んだ

平町人事

▲出生

△新川町二四　當時北海道小樽市高野德重氏長女ハル

△二丁目五三　吉成喜一郎氏長男友孝

▲死亡

△立町五五　竹村正明（三つ）

△彌宜町七　佐川熊造四九